

公益財団法人 庭野平和財団

I. 平成 22 年度 事業報告

(平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

1. 事業報告

A. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

1. 活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行いその結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

(1) 第二回社会調査「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」(平成 24 年度実施予定)準備。

a. 事務局内部で、第一回社会調査の結果の検討・研究を整理し、第二回社会調査のための質問項目の準備を行った。

(2) 第一回社会調査の結果の検討・研究

(3) 情報・資料収集

a. 2011 年 1 月 26 日 - 28 日、タイ・パッタニ市で開催された AMAN(Asian Muslim Action Network)の総会に、野口専務理事が参加し、アジアにおけるイスラム教徒の平和活動と諸宗教対話活動への参加について情報を収集した。

b. 2011 年 3 月 7 日、韓国宗教人協議会総会に招待され、当財団の基本理念と平和のための活動に関して講演すると同時に、韓国の活動的な宗教者と意見交換を行い、彼らの社会貢献活動に関する情報を収集した。

2. 普及啓発事業

公益目的事業（庭野平和賞の事業と助成事業を含む）の成果を、宗教組織及び市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催による普及啓発を図る。宗教組織および市民組織の人材育成、専門知識の取得及び組織の活動の充実を目指す。

（1）GNH（Gross National Happiness（国民総幸福度））および地元学に関する現地学習会、シンポジウムの開催

a. 水俣地元学スタディーツアーの開催

平成23年10月14日－16日、熊本県水俣市で、関西大学社会学部草郷孝好教授を講師に開催する。なお、本年の現地学習会は、3月11日の震災の影響もあり、4月22日－24日に開催を計画していた学習会を延期した。

b. 第三回GNHシンポジウムの開催

平成23年11月16日、東京・中野区中野サンプラザにて立教大学大学院教授の内山節先生に基調講演をお願いし、開催する。

（2）京都シンポジウム（一般公開）

平成23年7月23日、京都市にある立正佼成会京都教会において、第28回庭野平和賞受賞者、スラック・シワラック氏による基調発題を中心に、関西学院大学教授、山本俊正先生をコーディネーターに行うための準備を行なった。なお、本年のシンポジウムは、3月11日の震災の影響もあり、5月20日に開催を計画していたものを延期した。

（3）「東アジア平和フォーラム」評価事業および報告会の開催

a. 2011年1月9日－10日、東京で本フォーラムの総括のための会議を行った。一その結果、2012年には、過去三回の評価事業として、今後の方向性の検討と過去三回のフォーラムの総括を出版する予定。

b. 東日本大震災による評価事業に遅れが出ているので、当初計画していた報告の開催については、未定の状態である。

c. 2010年11月6日－8日、韓国・ソウルで開催された第三回「東アジア平和フォーラム」ソウル会議の内容が、2011年3月発刊の岩波書店「世界別冊 No. 816」に『シンポジウム 2050年の東アジア－国家主義を超えて』として掲載された。

(4) 「現代世界の危機における宗教と宗教研究の役割」(NPFプログラムで継続—2009年終了)の研究成果として、上智大学出版会から記録集を発行予定。

(5) ウェブサイト、E-mail等を利用した情報公開

a. 2010年10月22日に開催したGNHに関するシンポジウムの内容をホームページ上で紹介した。

b. 2011年1月26日-28日、タイ・パッタニ市で開催されたAMAN(Asian Muslim Action Network)の総会における、イスラム教徒の指導者として著名なチャンドラ・ムザファール博士(マレーシア)の基調講演をユーチューブによって、ホームページ上で紹介した。

B. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を通して、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人、または団体を表彰し、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

平成23年度に実施予定の第28回庭野平和賞の公式記者会見と贈呈式の準備を行った。

(1) 第28回庭野平和賞について

2月28日午後2時から京都の立正佼成会普門館において、京都宗教記者クラブ所属の新聞社、通信社の記者に対して、庭野欽司郎理事長から第28回庭野平和賞受賞者の発表を行った。すなわち、受賞者氏名、贈呈理由、受賞者の略歴を公表した。また、同時にローマ教皇庁内のバチカン記者クラブとジュネーブにある世界教会協議会(WCC)において上記と同じ内容の英文資料を関係者を通じて配付した。第28回庭野平和賞受賞者はタイ王国の在家仏教徒で社会批評家のスラック・シワラック氏である。

その後、第28回庭野平和賞贈呈式を5月19日(木)に東京の社団法人日本外国人特派員協会で開催することを決定したが、3月11日に発生した東日本大震災に鑑み、日時、場所と一部内容を変更して開催することになり、その選定作業を行った。その結果、7月23日午前10時から京都市の立正佼成会京都普門館で実施することが決まった。

(2) 第29回庭野平和賞について

1月15日に第29回庭野平和賞候補者推薦の推薦書受付を締め切った。

C. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成事業

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。本事業は1.「公募による助成」、2.「非公募による助成」、3.「指定寄付による助成」から構成される。

1. 公募による助成

平成23年度の公募助成を昨年度と同様の要領で行うことを決定した。

2. 非公募による助成（NPFプログラム）

平成23年2月1日に「NPFプログラム助成委員会」を開催し、事務局より「非公募による助成（NPFプログラム）」、「助成委員会規程」が説明された。「助成委員会規程」の中で、「NPFプログラム助成委員会」を「NPFプログラム助成小委員会」と名称を改めることの提案があった。また、事務局起案の以下の案件が提出され、それぞれ審議された。

- a. 「東アジア低炭素地域づくり青年ワークショップ」（申請団体：ARI - Asia Regional Initiative、申請金額：96万円）審議未了につき次回に持ち越し
- b. 「国際協力NGO次世代育成事業」（申請団体：国際協力NGOセンター、申請金額：12,082,290円）審議未了につき次回に持ち越し

その他、「第3回九条アジア宗教者会議」、「日韓宗教者フォーラム - 韓日都市宗教施設緑化プログラム」、「路上生活者支援プログラム」、「明るい社会づくり運動人材育成プログラム」の4案件が5月24日開催予定の次回委員会、およびそれ以降の委員会で審議に付される予定であることが報告された。

c. 臨時助成

以下を事務局起案、NPFプログラム小委員会による電磁的方法による審議の後、12月27日に理事長が決裁し、臨時助成を行った。

申請事業：年末・年始、生活困窮者への炊き出し活動支援

申請団体：特定非営利活動法人「TENOHASHI」、山谷労働者福祉会館活動委員会、
基督教団神奈川教区寿地区センター、浅草聖ヨハネ教会、聖公会野宿
者支援活動

助成額：100 万円

3. 指定寄付による助成

(1) 指定寄付による助成 - 現在は“南アジアプログラム”を実施 -

(南アジアプログラム)

平成 23 年 3 月 4 日、「南アジアプログラム選考委員会」が開催され、インドの 2 団体への助成が決定した。2011 年度は、選考対象国をインドのビハール州、ジャルカンド州、西ベンガル州、チャッティスガル州、及びウッタル・プラデーシュ州（東部地域のみ）とし、サブテーマを「最も貧しい人々のエンパワーリング」と定め、インド現地諮問委員会の各々の委員より、提出された 10 団体の団体名のうち事務局にて精査の結果、候補に資すると判断した計 8 団体を選出し、同 8 団体に、2011 年度のガイドラインを送付し、南アジアプログラムへの申請を呼びかけた。同時に、申請を希望する場合には、サブテーマにもとづいた事業計画の概要書（コンセプトペーパー）を提出することを要請した。提出された概要書を事務局にて精読し、6 団体を最終候補団体として設定した。そして、同 6 団体に対し、申請書の提出を要請した。その後、委託プログラム・オフィサーであるナビン・アリヤル氏が 6 団体を訪問し、現地調査を行った。そしてそれら 6 団体から提出された申請書とアリヤル氏の調査報告をもとに上記の「選考委員会」で審査した結果、Sahyogini と Life Education and Development Support [LEADS] の申請が採択された。

2. 庶務の概要 (平成22年12月1日より平成23年3月31日まで)

平成22年度の庶務の概要につき、以下のとおり報告する。

1. 会議開催状況

理事会、評議員会、監査等の開催状況は次の通り。

(1) 理事会

第1回理事会 (平成23年2月10日)

- 第1号議案 「財団法人庭野平和財団の平成22年度(4月～11月)事業報告及び決算」の件
- 第2号議案 「公益財団法人庭野平和財団の平成22年度(12月～3月)事業計画及び予算」の件
- 第3号議案 資産運用基本方針について
- 第4号議案 「第1回評議員会開催」の件
- 第5号議案 「諸規程等の制定・改正」の件
- 第6号議案 名誉会長選任の件
- 報告事項
 - 1. 評議員会決議事項「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の件
 - 2. 評議員会決議事項「定款の変更」の件

第2回理事会 (平成23年2月24日)

- 第1号議案 「代表理事(理事長)及び業務執行理事(専務理事)選定」の件
- 第2号議案 「寄附金等取扱規程」第6条第2項の件
- 報告事項
 - 1. 評議員会決議事項「財団法人庭野平和財団の平成22年度(4月～11月)事業報告及び決算」の件
 - 2. 評議員会決議事項「定款の変更」の件
 - 3. 評議員会決議事項「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の件
 - 4. 評議員会決議事項「理事選任」の件

第3回理事会 (平成23年3月10日)

- 第1号議案 「平成23年度事業計画及び予算」の件
- 第2号議案 「第2回評議員会開催」の件

報告事項 1. 第4回理事会の開催日について

第4回理事会（平成23年3月29日）（書面による理事会）

第1号議案 「第2回評議員会を「報告の省略」の方法により行うことに関する件」

(2) 評議員会（平成23年2月24日）

第1回評議員会

第1号議案 「財団法人庭野平和財団の平成22年度（4月～11月）事業報告及び決算」の件

第2号議案 「公益財団法人庭野平和財団の平成22年度（12月～3月）事業計画及び予算」の件

第3号議案 「定款の変更」の件

第4号議案 「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の件

第5号議案 「理事選任」の件

報告事項 1. 理事会報告 (1) 「諸規程等の制定・改正」について

(3) 監査

実施日： 平成23年1月31日（月）

内容： 平成22年度（平成22年4月1日～11月30日）会計監査・業務監査

3. 寄付の状況

ア. 受付件数 4件
イ. 受付金額 1,375,376円

4. 事務局人員構成（平成23年3月31日現在）

常勤	野口 陽一	専務理事
	高谷 忠嗣	事務局長
	大友 伸洋	総務主査・助成担当
	橋本 孝予	総務部総務担当
	仲野 省吾	南アジアプログラム・プログラムコーディネーター
非常勤	中島 由佳	事業開発担当

以上